

第2回学校関係者評価委員会報告書

学校法人国際ビジネス学院
専門学校金沢美専

学校法人国際ビジネス学院 専門学校金沢美専の「令和5年度自己評価点検報告書」に基づいて、学校関係者評価を実施しましたので、以下の通り報告いたします。

記

開催日時：2024(令和6)年2月28日(水) 16:00～18:00

開催場所：専門学校金沢美専 会議室

1. 学校関係者評価委員

<出席委員>

- ・関係業界委員：田中 成臣 氏(石川エステティック協同組合 理事長)
- ・企業等委員：熊野 友勝 氏(株式会社インターステイト 代表取締役)

<本校職員>

- ・本校教職員：高崎 千愛、米澤 愛、作本 智美
- ・司 会：高崎 千愛
- ・議事録作成：作本 智美

2. 学校からの報告事項

①募集活動報告

令和6年度の新入学生は40名定員のところ、35名が入学予定。

昨年が40名なので、3名ほど落としている

内訳としては、エステ10名、メイク17名、ネイル8名、未定2名で今のところの希望は出ているが、全体としてはまだまだぼんやりしている。

美容学科は80名中の80名

<意見など>

Q：入試で落としたということはあったのか → ない。

②就職報告報告

2年生22名(エステ専攻11名、メイクネイル・専攻11名)

就職希望者は17名、エステ9名(内、県内6名)、メイク4名、ネイル2名

5名は3年目の課程に進学する。

エステ専攻のうち、1名はネイリスト、1名は内定いただいていたが、県内にとどまるため活動中

③退学者数報告

心身の問題を抱えた子もいたが、退学者の理由として大きかったものが、目的喪失。

環境やカリキュラムの問題も大きく関与している。

もともとの希望では、メイク7名、ネイル2名、エステ1名

担任との関わりをもつ時期などの工夫。

通信制の高校出身者は3名

親が学校よりも退学をすんなり了承することが多くなった。

生活が乱れによるものは2名

頑張っている子が突然退学を申し出るケースも多い。

<意見など>

Q：ともだちに引きずられる子はいなかったのか？

→もちろんいた。が残る子もいる。

Q：全体的な傾向か？

→他の学科で見ても、今年度は多いと感じる。

→通信制の生徒が増えていることも背景にはある。

→高校のガイダンスでも通信制の生徒が対象の子も増えている。

→中学、高校で学んできたスタイルが変わってきている。

Q：上記は企業側にとっても問題。どうしていったらいいか考えていかなければいけない。

→選択肢が増えたというのはいいこともあるが、

→逃げることができるから、立ち向かうことができなくなっている子は増えている。

→親もしっかりコミュニケーションを取って子供を育ててほしい。

→親の教育も必要な時代なのかもしれない。

Q：目的喪失とはどのような状態か？

→今が大変だから、学校に行けない状態という子が多い。

Q：上記の子はもともと欠席がちとかだったのか？

→真面目に来ていた子もいる。

Q：地元の子が多いのか？

→他県の子もいる。退学後も金沢にいるケースもある。

学校には突然なのかもしれないが、その前から何か感じていたのだろうが、それを拾うことができていないのが課題。

→なかなか本当のことを言ってもらえないのは企業も一緒。

→自己肯定感を育成していくことが必要

Q：対策としては何か考えているのか？

→現在教職員で傾向を共有している。この後対策まで持つて行く。

→以前受けた研修で、みんなで決めた目標に対して自分が抜けたら達成できないような状況があり、やめられない感じがした。何かチームとして目標や役割を持たせてはどうか？

また、そうした考えは社会に出た時にも求められるものになる。

Q：2年生が1年生をフォローすることはできないのか？

→2年生の中でも入れることは入れない子がいるため、難しい。

業界としては、何とか学校に残って業界に入る子を増やしてもらいたい、学校を緩めると業界から厳しくするように要望があると思う。辞めてしまうと業界には入ってこないと思うので、何とかつないでほしい。

学校としては専門学校のような傾向を業界の方にも知っていただき、長い目で教育をしていかなければいけないという現状をご理解いただきたい。

④その他

特になし。

3. 自己点検評価報告書の評価項目ごとの評価・意見等

項目	評価・意見等
1 教育理念・目的・ビジョン	特になし
2 学校運営	特になし
3 教育活動	特になし
4 教育成果	●退学者について 前述のとおり。学生の声に耳を傾けることにも工夫が必要 ●就職活動について 前述のとおり。
5 学生支援	特になし
6 教育環境	特になし
7 学生募集と受入れ	●次年度の入学者数は 39 名見込み
8 教職員組織	特になし
9 社会貢献	特になし

第1回学校関係者評価委員会報告書

学校法人国際ビジネス学院
専門学校金沢美専

学校法人国際ビジネス学院 専門学校金沢美専の「令和4年度自己評価点検報告書」に基づいて、学校関係者評価を実施しましたので、以下の通り報告いたします。

記

開催日時：2023(令和5)年9月28日(木) 16:00～18:00

開催場所：専門学校金沢美専 会議室

1. 学校関係者評価委員

<出席委員>

- ・関係業界委員：田中 成臣 氏(石川エステティック協同組合 理事長)
- ・企業等委員：熊野 友勝 氏(株式会社インターステイト 代表取締役)

<本校職員>

- ・本校教職員：高崎 千愛、米澤 愛、今井 美穂、作本 智美
- ・司 会：高崎 千愛
- ・議事録作成：作本 智美

2. 学校からの報告事項

①募集活動報告

現状の1年生の入学者・・・40名

2024年度入学者数(見込み)・・・39名

定員40名なので、毎年コンスタントにいっぱいに行きたいと考える。

それ以前は20名～30名だったので、常に40名を超えて行きたい。

要因としては、美容学科が定員を超えているところの相乗効果

ライバル校と見比べて雰囲気や実践教育を理由に入学を決める子が多い。

SNSにも力を入れている

<意見など>

- ・SNSは拝見しているがきれいにとれている。学生もおしゃれに写っている。
- ・ビューティーに進学する学生の希望調査はいつとるのか？
→入学時の4月と2年次の専攻を選ぶときに実施している。
- ・学校としての推奨はあるのか？
→基本的には本人の意思を尊重する。迷っている場合は相談にのる。
- ・卒業生の就職継続率などは把握しているか？

→アンケートまでは取ってはいない。

→学んだことが活かしているかどうかということを知るためにも卒業生の動向があった方がいい。保護者の方が答えるのでもいいと思う。続けている割合が高ければ、打ち出せる数字にもなる。

②就職報告報告

エステ専攻 11 名 … 10 名がエステ業界（未内定 1 名）、1 名ネイリスト

メイク・ネイル専攻 11 名 … ネイリスト 1 名、美容部員 4 名、未内定 1 名（美容部員希望）

未来プロフェッショナル学科進学 5 名

未来プロフェッショナル学科（ビューティーを学びながら美容師免許を取得する）

- ・進学する学生はヘアメイクを目指す学生が多い。
- ・美容師免許を取って仕事の幅を広げたいという学生もいる。
- ・学生の学びも多様化している。

③退学者数報告

今年度始まってからは 1 名のみ。

2 年生になって退学するケースはまれ。

1 年生の夏休み後も増えることが多いが今年度はとどめている。

今後、年度末に向かってはまだ不安定な学生もいるので、引き続き寄り添っていく

④その他

特になし。

3. 自己点検評価報告書の評価項目ごとの評価・意見等

項目	評価・意見等
1 教育理念・目的・ビジョン	特になし
2 学校運営	特になし
3 教育活動	特になし
4 教育成果	●退学者について 前述のとおり。学生の声に耳を傾けることにも工夫が必要 ●就職活動について 前述のとおり。
5 学生支援	特になし
6 教育環境	特になし
7 学生募集と受入れ	●次年度の入学者数は 39 名見込み
8 教職員組織	特になし
9 社会貢献	特になし

第1回学校関係者評価委員会報告書

学校法人国際ビジネス学院
専門学校金沢美専

学校法人国際ビジネス学院 専門学校金沢美専の「令和4年度自己評価点検報告書」に基づいて、美容学科の学校関係者評価を実施しましたので、以下の通り報告いたします。

記

開催日時 2023(令和5)年10月4日(水) 17:00～18:00

開催場所 専門学校金沢美専

1. 学校関係者評価委員

<出席委員>

業界企業：grace 代表 松下 泰之

業界企業：カラーズジャパン株式会社 松本 仁志

業界団体：石川県美容組合 理事長 前川 幸子

<本校教職員>

副校長：山本 公生

参与：西井 十六勝

常務理事：東 ちえこ

責任者：作本 智美

教諭：田中 みき

2. 学校からの報告事項

2. 1 教育成果について

①学生技術大会地区大会について

7月の地区大会を経て、ワインディングで全国大会に出場。

信越北陸地区からは2名中の1名

②2023 年度卒業生の就職状況について

就職者数 47/57 (10月4日現在)

	女子	男子	合計
石川県	25 (24)	5 (3)	30 (27)
内、組合員	16 (16)	4 (3)	20 (19)
富山県	4 (4)	1 (0)	5 (4)
福井県	0 (1)	1 (0)	1 (1)
関東圏	8 (13)	0 (6)	8 (19)
関西圏	1 (4)	1 (0)	2 (4)
中部圏	1 (1)	0 (0)	1 (1)
合計	39	8	47

<意見等>

- ・内定先を提示できるのであれば提示してほしい。
- ・今の1年生はコンテストに参加している美容師さんを見ていた。
- ・学校近辺の組合に未加入のお店には組合理事長が加入の営業をかけられている。
- ・学校行かなくても通信でいいということになってしまう。美容室はそのほうがよくなってしまう。
美容室が高校生を狙っていかなければならなくなる
- ・美容学校にお金を払って行かなくてもよくなる。
- ・産学連携でやっているにもかかわらず、県内のサロンに落ちないのはなぜか？
→ここにいる関係者が入社する魅力を訴求してほしい。
- ・学校の指導の中で努力しているサロンや、しっかりと集客のあるサロンを勧めているのか？→基本的には組合加盟のサロンや卒業生が続けているサロンが優位
- ・今どきの雇用形態に変えているところには伸びている。

- ・若い子たちのつながりで選んでいる部分もある。
- ・有給なども他の企業並みにしていかなければならない。

③退学者・休学者について

1 年生・・・10 名（6）退学 4 名、休学 5 名、転科 1 名

2 年生・・・1 名（4）通信課程への転科者 1 名

<意見等>

- ・人数が増えた分、いろいろな理由があると思う
- ・若い人の特徴ともとれる。
- ・通信に行った場合の提携サロン等の斡旋をしていくことも視野に入れてほしい
→大々的ではないが、そういう制度があると紹介してあげてもいい。
- ・本当に美容師が嫌なのか、単に経済的な理由なのかを見てほしい。
- ・同様の専門学校が全面的に授業料無料を掲げている。
→おそらく修学支援のことで、該当者が限定される。

2. 2 学生募集と受入れについて

- ・2024 年度美容学科入学希望者見込み数。（）内は昨年度の実績

	女子	男子	合計
石川県	49（39）	12（9）	61（48）
富山県	7（16）	5（4）	12（20）
福井県	7（10）	4（2）	11（12）
その他	（0）	1（0）	1（0）
合計	63（65）名	22（15）名	85（80）名

- ・3 月に入学前のオリエンテーションを実施予定。

- ・3 月のイベントについて

小中高生に向けたイベントを実施。

美容の職業に憧れてもらえるようなイベントを毎年継続していきたい。

あまり大きな形ではないが、少しずつ大きくしていきたい。

→チラシを組合に入れてもらう。

2. 3 未来プロフェッショナル学科について

学院全体で取り組むことになっている。

今年度の2年生には対象者おらず、令和7年スタートになる見込み

2. 4 教員の募集について

教員の募集についてはあまり進捗が見られない。

学校としては卒業生などに都度声をかけている。

<意見等>

- ・求人票をサロンなどに掲示するためにも、求人票等条件がわかるものがあるとよい。
- ・給与の条件、勤務形態、休日、教員の資格について、求人票を作成して紹介してもらう。出向についても金額面やメリット、デメリットをクリアにしたものを出す。
- ・先生の求人に対してもう少しOPENにしていくことが必要。

3. 総合的なご意見、改善事項等

特になし